

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2455
	基本事業	自転車利用の更なる促進		事業実施主体	市
	事務事業	放置自転車等対策事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	快適で安全なまちづくりを目指すため、放置自転車等の警告、移送、保管、返却、処分等を行う。		
	30年度概要	放置自転車の警告、撤去、移送業務を14回/月行う。 放置自転車の返還業務を年間249日行う。	
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	放置自転車の禁止区域
意図(どのような状態にしたいか)	放置自転車を減少させ、交通の円滑化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
放置自転車警告撤去回数	回		168	168	168	168

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		放置自転車警告件数	台	目標値		65,000	65,000	65,000
			実績値		51,580	46,160		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 129.0%
	広報やポスターなどによる放置自転車対策に関する周知・啓発に努めたことにより、目標を十分に達成することができた。 (目標達成度)							35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	44,881	45,136	43,375	44,194
(事業費)	[円]	39,507	39,248	37,685	38,504
(職員人件費)	[円]	5,374	5,888	5,690	5,690

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
広報やポスターなどによる放置自転車対策に関する周知・啓発に努めたことにより、放置自転車が減少した。 警告 46,160台 移送 4,799台 返還 2,409台 引き続き、啓発強化を行うとともに、台数が不足している駅の駐輪場整備に努める必要がある。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
制度の周知・啓発に努め、放置自転車のない快適なまちづくりを進める。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2455
	基本事業	自転車利用の更なる促進		事業実施主体	市
	事務事業	駐輪場整備事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	自転車等の利用者の利便を図るとともに、放置自転車を減少させるため、自転車等駐車を整備する。		
30年度概要	民間駐輪場補助事業（継続7件333台） JR栗林公園北口駅駐輪場整備		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


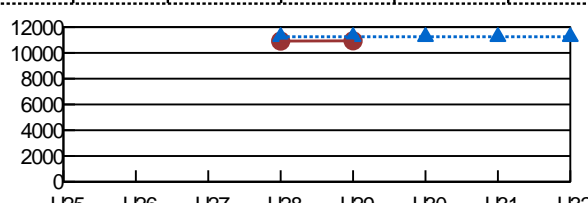

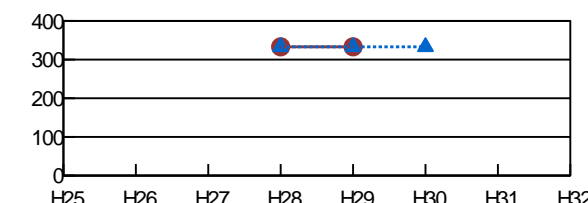
【事業の目的】

対象（何を）	整備が必要な駅及び商店街
意図（どのような状態にしたいか）	市内の放置自転車を減少させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
新規駐輪場整備台数	台		15	20	100	10
民間駐輪場への補助金交付件数	件		7	7	7	8

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数	台	目標値		11,252	11,252	11,252	11,252
		実績値		10,917	10,937		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標台数を達成するため、鉄道事業者の協力も得ながら、今後とも駐輪場の整備に努めていきたい。 		(目標達成度)					(達成度) 97.2%
補助駐輪場の収容台数	台	目標値		333	333	333	380
		実績値		333	333		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 継続した商店街の駐輪場を確保できており、概ね目標を達成できている。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0%

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	71,745	10,772	10,762	11,773
（事業費）	[円]	69,442	8,181	8,258	9,269
（職員人件費）	[円]	2,303	2,591	2,504	2,504

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
商店街の駐輪場の補助を行うとともに、ことでん林道駅駐輪場の整備を行った。引き続き、鉄道事業者等の協力を得ながら駐輪場整備に努める必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
駐輪場内の放置自転車対策や駐輪場利用者のマナー向上の啓発など、ソフト施策を進めるとともに、鉄道事業者等の協力を得ながら駐輪場整備に努める。			